

## サマースクール「Wood in Culture～木のある文化へ」

### 2013「木と水」参加者募集

木と人の関わりは、伝統文化はもとより、今日の日常生活、そして地球環境に至るまで、広範な時空間に関連した多様な文化を生み出しました。自然と人の共生が豊かにあり続けるためには、木と人の文化の未来を思い描ける若者が必要とされています。ますます諸分野が細分化される中、縦割りの専門教育を超えて、広い視野を持った「木の文化」の担い手を育てることを目的とし、学生向けサマースクール「Wood in Culture～木のある文化へ」の構想に至りました。学生たちが専攻を超えて集まり、国内外からの様々な講師との交流をとおして木の文化の多様性について語らい、そして自らの考えを発信する場となることが理想です。

記念すべき第一回のサマースクール「Wood in Culture～木のある文化へ」は、地上の生命にとって最も基本的な「水」をテーマに選び、関連する幅広い専門分野から講師陣をお招きして開催することに決定しました。私たちは森から流れ出る水によって支えられ、また、木でつくった道具や建造物を介して水と接することで様々な文明をつくりあげてきました。時に、水は文明を飲み込むこともあります。東京都の水源地、多摩川源流の村・小菅を会場に、樽づくりや造船、建築や都市など、「木と水と人々の関わり」の多様性を学び、これからの文化について考えてみましょう。

- 日時 2013年8月8日（木）13:00 集合 ～ 8月10日（土）16:00 解散  
※ 集合場所は追って発表いたします。
- 会場 多摩源流大学 山梨県北都留郡小菅村 1911  
小菅村公民館 山梨県北都留郡小菅村 1945

#### ■ プログラム

	8月8日（木）	8月9日（金）	8月10日（土）
8		朝食	朝食
9		8:30-11:00 エクスカージョン 「源流の森を歩く」	9:00-10:30 「木の中の水」 東京大学・有馬孝禮
10		11:00-12:30 「木造船の文化」（仮） 東京海洋大学・庄司邦昭	11:00-12:30 「水都東京の成り立ち-歴史とエコロジーから読む」 法政大学・陣内秀信
11			
12		昼食	昼食
13	13:00-14:00 開講式	13:30-15:00 「水と建築・材料との結びつき」 東海大学・石川廣三	13:30-15:00 クロージングレクチャー 「森と水の国を支える生態系の力」 北海道大学・中村太士
14	14:00-15:30 オープニングレクチャー 「源流学のすすめ」 東京農業大学・宮林茂幸		15:00-16:00 閉講式
15		15:30-17:00 「命の水と樽」 サントリー・三鍋昌春	
16	チェックイン/入浴		
17	17:30-20:00 ウェルカムパーティー 「森・食・緑」	入浴/夕食	
18			
19			

